



吹田市立博物館とその周辺

平成13年度 特別陳列

平成13年10月20日(土)～12月2日(日)

「吹田風土記の丘・紫金山公園の構想に向けて」

■会場 当館 3階 特別展示室
■開館時間 午前9時30分～午後5時
■休館日 月曜日
■観覧料 大人200円 高大学生100円 小中学生50円
(20名以上の団体の場合は2割引)
市内在住の65歳以上の方は100円
毎月第2・4土曜日は市内小中学生は無料

■講演会 平成13年11月4日(日) 午後2時～3時30分
当館 2階 講座室 聴講無料
四天王寺国際仏教大学名誉教授 藤沢一夫氏
「むかしの屋根瓦」

■展示解説 平成13年11月23日(祝) 午後2時～3時

吹田市立 博物館

大阪府吹田市岸部北4丁目10番1号
電話 06-6338-5500
FAX 06-6338-9886



吹田市立博物館は岸部北4丁目の紫金山公園の一角にあります。ここには古墳時代の須恵器窯跡をはじめ平安京の瓦を焼いた国史跡吉志部窯跡があり、また、近隣には後期難波宮へ瓦を供給した国史跡七尾瓦窯跡もあり、博物館周辺の丘陵地帯は古代の土器・瓦生産で重要な歴史的役割をはたしてきた地域なのです。

このような従来の成果に合わせて、最近の吹田操車場跡地の発掘調査によって、平野部の様相も次第に判明し

てきました。さらに、この周辺では古代に限らず、近世～近現代にかけて瓦の生産が行われ、また一時、赤煉瓦も生産されていたことも明らかとなりました。この特別陳列では、岸部周辺で行われてきた古代から現代の焼物生産の姿を記録に留めるとともに、最近の発掘調査の成果も振り返りつつ、これから進められる吹田風土記の丘・紫金山公園の整備構想を見据えて、岸部周辺の歴史を再評価してみたいと思います。



七尾瓦窯跡出土 蓮華唐草紋系瓦



正福寺旧本堂に使われていた宝暦3年(1753)製鬼瓦(天道製)

交通案内

- JR岸辺駅下車徒歩25分
- JR吹田駅・阪急吹田駅から
桃山台駅前ゆき、山田樫切山ゆきバス
「佐井寺北」下車徒歩10分
千里中央ゆき、阪急山田ゆきバス
「岸部」下車徒歩10分
- JR吹田北口から
五月が丘南ゆきバス
「五月が丘西」下車徒歩7分
- 阪急南千里駅から
JR吹田ゆきバス②、③系統
「佐井寺北」下車徒歩10分



岸部で製作された瓦の刻印